青春残酷物語（1960）

メディア 映画
ジャンル 青春
製作国 日本
色彩 Color
時間 96分
初公開日 1960/06/03
映倫 PG12

【解説】
大島渚が脚本・監督を担当し、大ヒットを記録した青春映画。この作品により「松竹ヌーヴェル・ヴァーグ」という言葉が生まれた。
真琴が中年の男にホテルに連れ込まれそうになったとき、彼女を助けたのは清という大学生だった。二人は男から奪った金で遊び、真琴は清に抱かれるが、それ以来連絡が来なくなった。清は人妻と不倫をしていたが、まっすぐな真琴に惹かれ同棲を始める。二人は美人局で金を稼ぐようになるが、真琴が妊娠していることが判明。清に子供を堕ろせと言われた真琴はアパートを出て行った。清は子供を堕ろした真琴と再会しアパートに戻るが、そこにはすでに警官が待ち構えていた。

【クレジット】
監督 大島渚 Nagisa Oshima
製作 池田富雄
脚本 大島渚 Nagisa Oshima
撮影 川又昂
美術 宇野耕司
音楽 真鍋理一郎
出演 桑野みゆき
川津祐介
久我美子
渡辺文雄
田中晋二

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.